

事業所名

こども療育ルームPUZZLE 多々良校

支援プログラム（放課後等デイサービス）

作成日

令和7年

10月

27日

法人（事業所）理念		子どもたち一人ひとりの「できた！」を大切にすること 保護者様と共に成長を支える姿勢 地域に根差した安心と信頼の療育環境づくり 専門職が連携し、心と身体の発達を総合的に支援する							
支援方針		当事業所では、脳と身体、心の発達のつながりに着目した「パズルブレインシステムアプローチ（PBSアプローチ：多階層アプローチ）」に基づき、一人ひとりの発達特性に応じた支援を行います。 子どもたちが安心できる環境の中で「できた！」という達成感を積み重ね、自信と笑顔を育てるよう支援を進めます。 アセスメントを実施し、アセスメント結果を分析し、困り感の分析をしていきます。子どもたち一人ひとりに適応した活動を提供するため、個別または小集団での活動を計画・実施します。							
営業時間		学校終了後	10時	30分	18時	30分	まで	送迎実施の有無	有
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	基本的な生活習慣（食事・排泄・睡眠・身支度など）の自立を促します。 脳と身体とのつながりを意識した感覚統合遊びや姿勢調整を通して、心身の安定を図ります。体調や情緒の変化に配慮し、安心して過ごせる生活リズムを整えます。手洗い・うがい・整理整頓など、日常動作の習慣化を支援します。自分の体調や気持ちを言葉やサインで表現できるよう支援します。							
	運動・感覚	発達段階に応じたプログラムを通して、身体の使い方やバランス感覚を育てます。 感覚統合に基づく活動により、触覚・前庭覚（平衡感覚）・固有感覚の調整を行い、身体と心の安定を促します。 遊びや運動の中で「できた！」という成功体験を積み重ね、自信と意欲を育てます。							
	認知・行動	注意・記憶・判断などの認知機能を高める活動を行い、課題理解力を育てます。 行動の背景にある感情や感覚を理解し、肯定的な声かけや構造化を通して自己コントロールを支援します。 「わかる・できる」を繰り返し体験することで、成功体験を積み、自己肯定感を高めます。							
	言語 コミュニケーション	言葉・ジェスチャー・視線など、個々の表現手段を尊重しながら意思の伝達を支援します。 やりとり遊びや共同活動を通して、相手の気持ちを感じる力や社会的コミュニケーション力を養います。 代替・拡張コミュニケーションなどの手法も活用します。							
	人間関係 社会性	集団活動やペアワークを通して、他者との関わり方や協調性を育てます。 ルールや順番を守る経験を積み上げながら、社会生活に必要なスキルを身につけます。 安心できる関係の中で、自己表現と共感の両方を学び、地域での生活力を高めます。							
家族支援		アタッチメント（愛着）の安定 児童の信頼関係を育むとともに、児童の感情や不安に寄り添い家族や周囲の人と安心した関係を継続するための支援 家族の子育てに関する困りごとに対する相談援助とその後の支援 児童の成長に必要な具体的な介助方法についての助言と提案 児童の発達状況や特性の理解に向けた相談援助 特性に配慮した家庭環境の整備			移行支援		移行先との支援方法、支援内容の共有や、児童の状態、保護者様の意向、支援方法についての伝達 ご家族様への情報提供 移行先の受け入れ体制づくりへの協力 併用利用先との児童の状態や支援内容の共有 併用利用の場合の利用日数や利用時間等の調整		
地域支援・地域連携		学校、医療関係機関等との情報連携や調節 支援方法や環境調整などに関する相談援助等の取り組み			職員の質の向上		事業所内研修・外部研修会への参加 当事業所独自のPBSアプローチを基盤とし、発達支援に関する研修や情報共有を通して、支援の質の向上に努めます		
主な行事等		大きな行事はありません。							